

環境報告書2018 環境マネジメントシステムの概要 資料

平成29年度 部局独自の取り組み

環境目標の達成度評価基準



→達成率100%以上



→達成率80%以上



→達成率80%未満

方針	目的	目標	具体的な取り組み	達成度 ()内は 実績値		
教育	環境マインドの育成	環境教育システムの構築	評価: 教養教育機構、人文学部、教育学部、生物資源学部では部門の目標を設定して、「環境マインドの育成」に繋げる取り組みを設定して実行しました。			
			教養教育機構	教養統合科目において、環境学A(環境内部監査員養成)を開講する。(前期・後期に集中講義で実施。開講時期: 前期8月29日~9月1日。) 教養統合科目において、国際理解実践(国際環境インターン)を開講する。(後期に集中講義で実施。)	(2回)	
			根拠 人文学部	カリキュラムにおいて、環境関連の授業を実施	(1回)	
			教育学部	教養教育における環境教育関連の授業を実施する。	(4回)	
			生物資源学部	教養教育のカリキュラムの中から環境関連講座を実施	(6回)	
	環境教育カリキュラムの支援	学内外の環境教育プロジェクトへの支援と連携	評価: 教育学部、工学部、生物資源学部、地域イノベーション学研究所、環境ISO学生委員会では部門の目標を設定して、「学内及び学外の環境教育プロジェクトへの支援と連携」として取り組みを設定して実行しました。			
			教育学部	全学に加えて、学部独自のキャンパスグリーンを実施し、学生の環境マインドの育成を促す。	(2回)	
			工学部	国際環境教育研究センターの委員会審議内容を、工学研究科教授会で報告、情報を共有し、支援と連携を促進する。	(11回)	
			根拠 生物資源学部	環境インターンシップ科目の周知	(1回)	
			地域イノベーション学研究所	スマートキャンパス計画に積極的に参加し具体的に行動する。	(4回)	
環境ISO学生委員会	環境学習の実施	(9回)				
研究	2.大学キャンパスや施設を活用し、自然共生、地球温暖化防止、資源・エネルギー利用等の革新技術の実現化立証に供する。	大学キャンパスや施設を活用した、地球温暖化防止、自然共生等の革新技術の実現化	各部署内実施の環境関連研究の情報集約	評価: 工学研究科、生物資源学部、地域イノベーション学研究所では、部局内の環境研究を普及するための目標を設定して実行しました。		
				工学部	工学研究科内実施の環境関連研究の情報を集約する。(工学部リサーチアクティビティーズの取りまとめをする。)	(1回)
				根拠 生物資源学部	研究科内の環境関連研究の情報集約	(1回)
				地域イノベーション学研究所	研究科内で実施されている研究活動と環境問題(例えば、地球温暖化防止、省エネルギー(従来方法とのエネルギーコストの比較)、ゴミ(廃棄物)の削減、環境意識改革等)との関係を意識付けする。具体的には、研究科で実施されている全ての特別研究について、環境問題との関係について考察し、文書にして明確化する。	(3回)
社会貢献	三重大学独自の環境主軸のUSR規範の検討と確立	USRの基に環境報告書に作成、環境情報発信のICT活用	評価: 教育学部、生物資源学部、地域イノベーション学研究所、企画総務部、財務部、環境ISO学生委員会では、各部署における「環境情報の発信」に関する目標への取り組みを設定して実行しました。			
			教育学部	環境報告書に掲載する環境教育の29年度成果をまとめ、部局担当の国際環境教育研究センター員に報告する。	(1回)	
			生物資源学部	環境報告書の作成に協力する	(3回)	
			根拠 地域イノベーション学研究所	大学の社会的責任(USR)としての環境イノベーションに関して、教職員と学生が話し合う場を提供する。	(3回)	
			企画総務部	全学ホームページへの環境報告書の掲載(広報室)	(1回)	
			財務部	環境報告書作成資料の提供	(1回)	
			環境ISO学生委員会	環境ISO学生委員会の取り組みを紹介する記事を作成環境ISO学生委員会の取り組みを紹介する記事を作成	(4回)	
	キャンパス及びその周辺地域社会と学生とのコミュニケーション強化	地域社会と連携による、環境コミュニケーションの創出	評価: 各部署において、「ノーマイカーデーの実施」を継続して取り組みを実施して実行しました。教育学部では、「キャンパスや周辺の環境を活用し、地域の学校園を対象とした環境学習を実施」、人文学部では、「清掃活動への参加周知」、生物資源学研究所では、「環境ISO学生委員会の活動を支援する」という、独自の取り組みを設定して実行しました。環境ISO学生委員会では、「町屋海岸再生プロジェクトの実施」という、独自の取り組みを設定して実行しました。			
			人文学部	町屋海岸の清掃作業参加を周知する	(3回)	
			教育学部	キャンパスや周辺の環境ならびにサテライトを活用し、地域の学校園を対象とした環境学習を実施	(13回)	
			生物資源学部	環境ISO学生委員会の活動を支援する	(4回)	
			教養教育機構	ノーマイカーデーを実施する。	(12回)	
			教育学部	ノーマイカーデーの実施	(12回)	
			根拠 医学部	ノーマイカーデーの実施	(10回)	
財務部	ノーマイカーデーの実施	(12回)				
学務部	ノーマイカーデーの実施	(12回)				
企画総務部	ノーマイカーデーの実施(通勤、出張、その他を含む)	(12回)				
施設部	ノーマイカーデーの実施	(12回)				
環境ISO学生委員会	環境ISO学生委員会主体による町屋海岸再生プロジェクトの実施	(5回)				

環境報告書2018 環境マネジメントシステムの概要 資料

平成29年度 部局独自の取り組み

環境目標の達成度評価基準



→達成率100%以上



→達成率80%以上



→達成率80%未満

方針	目的	目標	具体的な取り組み	達成度 ()内は 実績値																																																																				
業務運営	エネルギー使用量の合理化	エネルギー使用量の合理化の実施	<p>評価: 各部局では、「エネルギー使用量削減の運用改善テーマ」を設定して実行しました。環境ISO学生会では「緑のカーテンの設置による冷房使用量の削減」を設定して実行しました。施設部では、「各部局への使用量通知」を設定して実行しました。</p>																																																																					
			<table border="1"> <tr><td>教養教育機構</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>人文学部</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行</td><td>(1回)</td></tr> <tr><td>教育学部</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行</td><td>(9回)</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行</td><td>(1回)</td></tr> <tr><td>工学部</td><td>「学部エネルギー使用量」を部内の教職員に周知し、使用量削減を目指す。</td><td>(4回)</td></tr> <tr><td>工学部</td><td>教室等の蛍光灯、機器等の電源オフの確認を行い、使用量削減を目指す。</td><td>(9回)</td></tr> <tr><td>生物資源学部</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行(クールビズの周知、エアコンフィルターの清掃呼びかけ、ノーマイカーデーの実施)</td><td>(4回)</td></tr> <tr><td>地域イノベーション学研究所</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 エアコンのリモコンの近傍に冷暖の適切な温度設定を掲示し、構成員全員が意識し行動に努める</td><td>(2回)</td></tr> <tr><td>学術情報部</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行</td><td>(2回)</td></tr> <tr><td>学務部</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行</td><td>(3回)</td></tr> <tr><td>財務部</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 ・クールビズ周知(5月) ・グリーンカーテン ・ウォームビズ周知(12月)</td><td>(3回)</td></tr> <tr><td>企画総務部</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行</td><td>(1回)</td></tr> <tr><td>施設部</td><td>使用しないエリアの空調を停止 昼休みは室内の照明を消灯 サーキュレーターで室内空気を循環</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>施設部</td><td>省エネ機器(LED照明化)の導入</td><td>(1回)</td></tr> <tr><td>監査チーム</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 (昼休みの室内消灯、空調機の適正温度設定と間引き運転、OAタップの節電スイッチ使用による省電力化、業務遂行に影響が少ない室内天井の照明管球取り外し等)</td><td>(1回)</td></tr> <tr><td>地域イノベーション推進機構</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行</td><td>(3回)</td></tr> <tr><td>地域人材教育開発機構</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 クールビズ(5/1-10/31)、ウォームビズ(12/1-3/31)の奨励、冷房温度(28℃)、暖房温度(19℃)のメール周知(6.9.12月)</td><td>(3回)</td></tr> <tr><td>保健管理センター</td><td>センター内に温度湿度計を設置し適正温度の確認。 夏期エアコンは熱中症嚴重警戒温度・湿度を超えた場合に使用する。(月1回の部局内会議で周知)。 冬期エアコン(暖房)は退勤15分前にOFF。(月1回の部局内会議で周知)</td><td>(2回)</td></tr> <tr><td>国際交流センター</td><td>エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行</td><td>(2回)</td></tr> <tr><td>総合情報処理センター</td><td>物理サーバの仮想サーバへの移行による省エネルギー化を継続的に行う。また窓ガラスを中心に遮光フィルム・断熱材等を貼ると共に、緑のカーテンで覆うことにより、一層の省エネルギー化を図る。</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>国際環境教育研究センター</td><td>昼休みの室内消灯</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>環境ISO学生会委員会</td><td>緑のカーテンの設置による冷房使用量の削減</td><td>(1回)</td></tr> <tr><td>施設部</td><td>各部局にエネルギー使用量を通知</td><td>(4回)</td></tr> </table>	教養教育機構	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(12回)	人文学部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(1回)	教育学部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(9回)	医学部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(1回)	工学部	「学部エネルギー使用量」を部内の教職員に周知し、使用量削減を目指す。	(4回)	工学部	教室等の蛍光灯、機器等の電源オフの確認を行い、使用量削減を目指す。	(9回)	生物資源学部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行(クールビズの周知、エアコンフィルターの清掃呼びかけ、ノーマイカーデーの実施)	(4回)	地域イノベーション学研究所	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 エアコンのリモコンの近傍に冷暖の適切な温度設定を掲示し、構成員全員が意識し行動に努める	(2回)	学術情報部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(2回)	学務部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(3回)	財務部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 ・クールビズ周知(5月) ・グリーンカーテン ・ウォームビズ周知(12月)	(3回)	企画総務部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(1回)	施設部	使用しないエリアの空調を停止 昼休みは室内の照明を消灯 サーキュレーターで室内空気を循環	(12回)	施設部	省エネ機器(LED照明化)の導入	(1回)	監査チーム	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 (昼休みの室内消灯、空調機の適正温度設定と間引き運転、OAタップの節電スイッチ使用による省電力化、業務遂行に影響が少ない室内天井の照明管球取り外し等)	(1回)	地域イノベーション推進機構	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(3回)	地域人材教育開発機構	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 クールビズ(5/1-10/31)、ウォームビズ(12/1-3/31)の奨励、冷房温度(28℃)、暖房温度(19℃)のメール周知(6.9.12月)	(3回)	保健管理センター	センター内に温度湿度計を設置し適正温度の確認。 夏期エアコンは熱中症嚴重警戒温度・湿度を超えた場合に使用する。(月1回の部局内会議で周知)。 冬期エアコン(暖房)は退勤15分前にOFF。(月1回の部局内会議で周知)	(2回)	国際交流センター	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(2回)	総合情報処理センター	物理サーバの仮想サーバへの移行による省エネルギー化を継続的に行う。また窓ガラスを中心に遮光フィルム・断熱材等を貼ると共に、緑のカーテンで覆うことにより、一層の省エネルギー化を図る。	(12回)	国際環境教育研究センター	昼休みの室内消灯	(12回)	環境ISO学生会委員会	緑のカーテンの設置による冷房使用量の削減	(1回)	施設部	各部局にエネルギー使用量を通知	(4回)
			教養教育機構	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(12回)																																																																			
			人文学部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(1回)																																																																			
			教育学部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(9回)																																																																			
			医学部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(1回)																																																																			
			工学部	「学部エネルギー使用量」を部内の教職員に周知し、使用量削減を目指す。	(4回)																																																																			
			工学部	教室等の蛍光灯、機器等の電源オフの確認を行い、使用量削減を目指す。	(9回)																																																																			
			生物資源学部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行(クールビズの周知、エアコンフィルターの清掃呼びかけ、ノーマイカーデーの実施)	(4回)																																																																			
			地域イノベーション学研究所	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 エアコンのリモコンの近傍に冷暖の適切な温度設定を掲示し、構成員全員が意識し行動に努める	(2回)																																																																			
			学術情報部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(2回)																																																																			
			学務部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(3回)																																																																			
			財務部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 ・クールビズ周知(5月) ・グリーンカーテン ・ウォームビズ周知(12月)	(3回)																																																																			
			企画総務部	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(1回)																																																																			
			施設部	使用しないエリアの空調を停止 昼休みは室内の照明を消灯 サーキュレーターで室内空気を循環	(12回)																																																																			
			施設部	省エネ機器(LED照明化)の導入	(1回)																																																																			
			監査チーム	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 (昼休みの室内消灯、空調機の適正温度設定と間引き運転、OAタップの節電スイッチ使用による省電力化、業務遂行に影響が少ない室内天井の照明管球取り外し等)	(1回)																																																																			
			地域イノベーション推進機構	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(3回)																																																																			
			地域人材教育開発機構	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行 クールビズ(5/1-10/31)、ウォームビズ(12/1-3/31)の奨励、冷房温度(28℃)、暖房温度(19℃)のメール周知(6.9.12月)	(3回)																																																																			
			保健管理センター	センター内に温度湿度計を設置し適正温度の確認。 夏期エアコンは熱中症嚴重警戒温度・湿度を超えた場合に使用する。(月1回の部局内会議で周知)。 冬期エアコン(暖房)は退勤15分前にOFF。(月1回の部局内会議で周知)	(2回)																																																																			
			国際交流センター	エネルギー使用量削減の運用改善テーマを定め、実行	(2回)																																																																			
			総合情報処理センター	物理サーバの仮想サーバへの移行による省エネルギー化を継続的に行う。また窓ガラスを中心に遮光フィルム・断熱材等を貼ると共に、緑のカーテンで覆うことにより、一層の省エネルギー化を図る。	(12回)																																																																			
			国際環境教育研究センター	昼休みの室内消灯	(12回)																																																																			
			環境ISO学生会委員会	緑のカーテンの設置による冷房使用量の削減	(1回)																																																																			
			施設部	各部局にエネルギー使用量を通知	(4回)																																																																			
			業務運営	紙の使用量の削減	紙の適正使用方法の継続と紙使用量の削減、および管理	<p>評価: 各部局では、「紙の適正使用方法の継続と紙使用量の削減」を設定して実行しました。環境ISO学生会では、紙の適正使用方法の継続のため「プリンターの印刷枚数を管理する」取り組みを設定して実行しました。</p>																																																																		
						<table border="1"> <tr><td>教養教育機構</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>人文学部</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>教育学部</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>医学部</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>工学部</td><td>前年度比の増減をユニット毎に周知し、増加している場合はユニット内で注意喚起を行う。</td><td>(2回)</td></tr> <tr><td>生物資源学部</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>地域イノベーション学研究所</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>学務部</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>財務部</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>学術情報部</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>企画総務部</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>施設部</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>監査チーム</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>地域イノベーション推進機構</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>地域人材教育開発機構</td><td>年間紙の購入量を記録・管理 コピー機構に削減啓発文を掲示</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>保健管理センター</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>国際交流センター</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>総合情報処理センター</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>国際環境教育研究センター</td><td>年間紙の購入量を記録・管理</td><td>(12回)</td></tr> <tr><td>環境ISO学生会委員会</td><td>プリンターの印刷枚数カウンターとチェック表の二重チェックによるデータ管理</td><td>(12回)</td></tr> </table>	教養教育機構	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	人文学部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	教育学部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	医学部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	工学部	前年度比の増減をユニット毎に周知し、増加している場合はユニット内で注意喚起を行う。	(2回)	生物資源学部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	地域イノベーション学研究所	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	学務部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	財務部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	学術情報部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	企画総務部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	施設部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	監査チーム	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	地域イノベーション推進機構	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	地域人材教育開発機構	年間紙の購入量を記録・管理 コピー機構に削減啓発文を掲示	(12回)	保健管理センター	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	国際交流センター	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	総合情報処理センター	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	国際環境教育研究センター	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)	環境ISO学生会委員会	プリンターの印刷枚数カウンターとチェック表の二重チェックによるデータ管理	(12回)						
						教養教育機構	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																
人文学部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
教育学部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
医学部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
工学部	前年度比の増減をユニット毎に周知し、増加している場合はユニット内で注意喚起を行う。	(2回)																																																																						
生物資源学部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
地域イノベーション学研究所	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
学務部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
財務部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
学術情報部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
企画総務部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
施設部	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
監査チーム	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
地域イノベーション推進機構	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
地域人材教育開発機構	年間紙の購入量を記録・管理 コピー機構に削減啓発文を掲示	(12回)																																																																						
保健管理センター	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
国際交流センター	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
総合情報処理センター	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
国際環境教育研究センター	年間紙の購入量を記録・管理	(12回)																																																																						
環境ISO学生会委員会	プリンターの印刷枚数カウンターとチェック表の二重チェックによるデータ管理	(12回)																																																																						

環境報告書2018 環境マネジメントシステムの概要 資料

平成29年度 部局独自の取り組み

環境目標の達成度評価基準



→達成率100%以上



→達成率80%以上



→達成率80%未満

方針	目的	目標	具体的な取り組み	達成度 ()内は 実績値																																																																					
	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出時の資源分別手順の確立と学内周知	評価:各部局では、「廃棄物排出時の資源分別手順の確立と学内周知」を設定して実行しました。環境ISO学生委員会では「リユースイベントの実施」、および「リユース活動」を設定して実行しました。施設部では「PCB(ポリ塩化ビフェニル)の適正処理」を設定して実行しました。																																																																						
			<table border="1"> <tr> <td>教養教育機構</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(4回)</td> </tr> <tr> <td>人文学部</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(9回)</td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(4回)</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(3回)</td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td>全学の他部局から届いた3Rに関する通知を部内の教職員にメール等で周知する。</td> <td>(4回)</td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td>3ヶ月周期で教職員宛にメールでリサイクル可能な不要品の有無を照会し、出てきた不要品の情報を工学部内及び全学のリサイクルシステムに提供する。</td> <td>(4回)</td> </tr> <tr> <td>生物資源学部</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(17回)</td> </tr> <tr> <td>地域イノベーション学研究所</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(2回)</td> </tr> <tr> <td>学務部</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(5回)</td> </tr> <tr> <td>学術情報部</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(4回)</td> </tr> <tr> <td>財務部</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(5回)</td> </tr> <tr> <td>財務部</td> <td>室内のごみの分別状況を確認し、記録し、結果を関係者に周知する。(分別状況の良くない状態の場合は、必ず周知する。良い状態の場合は記録する)</td> <td>(12回)</td> </tr> <tr> <td>企画総務部</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(4回)</td> </tr> <tr> <td>施設部</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(4回)</td> </tr> <tr> <td>監査チーム</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(4回)</td> </tr> <tr> <td>地域イノベーション推進機構</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(6回)</td> </tr> <tr> <td>地域人材教育開発機構</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ・ゴミ箱設置場所にポスター掲示 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行 ・不用品についてリサイクルシステムを利活用</td> <td>(4回)</td> </tr> <tr> <td>保健管理センター</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施</td> <td>(1回)</td> </tr> <tr> <td>国際交流センター</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(7回)</td> </tr> <tr> <td>総合情報処理センター</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(4回)</td> </tr> <tr> <td>国際環境教育研究センター</td> <td>三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行</td> <td>(4回)</td> </tr> <tr> <td>環境ISO学生委員会</td> <td>環境ISO学生委員会主体による古本市、家電のリユースイベント、落ち葉の堆肥化及び学内放置自転車のリユース活動の開催</td> <td>(26回)</td> </tr> <tr> <td>環境ISO学生委員会</td> <td>環境ISO学生委員会主体によるイベントの周知</td> <td>(9回)</td> </tr> </table>	教養教育機構	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)	人文学部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(9回)	教育学部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)	医学部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(3回)	工学部	全学の他部局から届いた3Rに関する通知を部内の教職員にメール等で周知する。	(4回)	工学部	3ヶ月周期で教職員宛にメールでリサイクル可能な不要品の有無を照会し、出てきた不要品の情報を工学部内及び全学のリサイクルシステムに提供する。	(4回)	生物資源学部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(17回)	地域イノベーション学研究所	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(2回)	学務部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(5回)	学術情報部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)	財務部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(5回)	財務部	室内のごみの分別状況を確認し、記録し、結果を関係者に周知する。(分別状況の良くない状態の場合は、必ず周知する。良い状態の場合は記録する)	(12回)	企画総務部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)	施設部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)	監査チーム	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)	地域イノベーション推進機構	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(6回)	地域人材教育開発機構	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ・ゴミ箱設置場所にポスター掲示 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行 ・不用品についてリサイクルシステムを利活用	(4回)	保健管理センター	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施	(1回)	国際交流センター	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(7回)	総合情報処理センター	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)	国際環境教育研究センター	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)	環境ISO学生委員会	環境ISO学生委員会主体による古本市、家電のリユースイベント、落ち葉の堆肥化及び学内放置自転車のリユース活動の開催	(26回)	環境ISO学生委員会	環境ISO学生委員会主体によるイベントの周知	(9回)	
			教養教育機構	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)																																																																				
			人文学部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(9回)																																																																				
			教育学部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)																																																																				
			医学部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(3回)																																																																				
			工学部	全学の他部局から届いた3Rに関する通知を部内の教職員にメール等で周知する。	(4回)																																																																				
			工学部	3ヶ月周期で教職員宛にメールでリサイクル可能な不要品の有無を照会し、出てきた不要品の情報を工学部内及び全学のリサイクルシステムに提供する。	(4回)																																																																				
			生物資源学部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(17回)																																																																				
			地域イノベーション学研究所	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(2回)																																																																				
			学務部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(5回)																																																																				
			学術情報部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)																																																																				
			財務部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(5回)																																																																				
			財務部	室内のごみの分別状況を確認し、記録し、結果を関係者に周知する。(分別状況の良くない状態の場合は、必ず周知する。良い状態の場合は記録する)	(12回)																																																																				
			企画総務部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)																																																																				
			施設部	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)																																																																				
			監査チーム	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)																																																																				
			地域イノベーション推進機構	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(6回)																																																																				
			地域人材教育開発機構	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ・ゴミ箱設置場所にポスター掲示 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行 ・不用品についてリサイクルシステムを利活用	(4回)																																																																				
			保健管理センター	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施	(1回)																																																																				
			国際交流センター	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(7回)																																																																				
			総合情報処理センター	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)																																																																				
			国際環境教育研究センター	三重大学の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の利活用を啓発・実施 ICTを用いてリサイクル情報を全学に周知・実行	(4回)																																																																				
			環境ISO学生委員会	環境ISO学生委員会主体による古本市、家電のリユースイベント、落ち葉の堆肥化及び学内放置自転車のリユース活動の開催	(26回)																																																																				
			環境ISO学生委員会	環境ISO学生委員会主体によるイベントの周知	(9回)																																																																				
				PCB(ポリ塩化ビフェニル)の適正処理	施設部 高濃度PCB及び低濃度PCBの適正処理	(2回)																																																																			

※具体的取り組みに対する評価は、国際環境教育研究センターが平成29年度EMS年間実施計画書の実績からまとめた内容です。